



ちばりは ニュース

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理 念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

2014年3月 発行 第16号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005

千葉市緑区誉田町1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

ホームページアドレス

<http://www.chiba-reha.jp/>

補装具製作施設の取り組み紹介

切断者リハビリテーションへの取り組み

補装具製作施設は、平成11年度に義肢装具士1名が常勤するにともない、切断者リハビリテーションに取り組み始めました。事故や病気で四肢を切断した方に、切断端の管理や、義肢(義手や義足)の扱い方を習得し社会復帰していただけるよう取り組んでいます。

義足を装着すれば、すぐに歩行できるというものではありません。そこで、医師を中心とした各専門職(理学療法士・作業療法士・看護師・ソーシャルワーカーなど)によるチームリハビリテーションを行っています。また、義肢装具士が常勤しているので、日々の状態の変化に合わせて微調整を行うことが出来るのが最大の特徴です。



訓練室での練習



屋外歩行練習



退院

まず、訓練室にて立位訓練、平行棒内歩行の練習をします。

次に、階段昇降やスロープ歩行などの応用歩行を練習します。さらに屋外の歩行練習をします。

○退院後の生活○

初めのうちは、転倒することもあったそうです。いまでは、買い物に行ったり、畑仕事を行うなど積極的に義足を使用して生活しているとのこと。

また、退院後も、定期的に外来訓練を受けています。生活の中で出てきた疑問や問題点を、相談にのりアドバイスしています。

義肢装具士が常勤している病院は全国的に少なく、千葉県内では3施設のみです。その中のひとつ、千葉リハの「補装具製作施設のその他の取り組み」は次ページで(P2へ)

補装具製作施設のその他の取り組み



障害児用自転車
市販の自転車に、足台と背もたれを付けました。



カットコップ
市販のコップを飲みやすいようにカットしました。



補高
脚長差を改善するために、上げ底加工しました。



バイオリン用義手
バイオリンを演奏するための義手を作りました。

○ 義肢装具士とは？ ○

医師の指示のもと、「義肢」や「装具」を作る、国家資格を有する専門家のことです。義肢装具士は1年間で約200人ずつ増えており、平成26年2月時点で4287名おります。

その多くは、民間の義肢装具製作会社に勤務し、定期的に病院を訪れその病院の患者様の義肢・装具を作製しております。

義肢

切断によって四肢の一部を欠損した場合に、元の手足の形態又は機能を復元するために装着、使用する人工の手足。

義手：上肢の切断者に用いる義肢
義足：下肢の切断者に用いる義肢

装具

四肢・体幹の機能障害の軽減を目的として使用する補助器具。

上肢装具：上肢に用いる装具の総称
下肢装具：下肢に用いる装具の総称
体幹装具：体幹に用いる装具の総称

日本リハビリテーション看護学会



学会初日 東京ベイ幕張アパホテル



2日目 ポスター発表 幕張

2013年10月26・27日に、第25回NPO法人日本リハビリテーション看護学会学術大会が幕張で開催されました。

台風が接近する悪天候の中、約600名のリハナースが幕張に集結し盛会裡に終えました。学会発足以来四半世紀の記念すべき今大会では当センター看護局長荒木が大会長を務め、看護局のみならず、センターあけて支援していただきました。

テーマ「未来を拓く・つなぐ・紡ぐ リハビリテーション看護」として、リハ看護の実践知を未来へ向けて発信する機会としました。

パネルディスカッションとそれに続くパネラーによる体験セッション、リハビリテーション関連のランチョンセミナーや企業展示を開催しました。リハナースが元気になって帰ってもらえるよう、企画・実行委員一丸となってサポートしました。

25周年記念講演として、日本看護協会会長坂本すが氏による「リハビリテーション看護に期待するもの」がありました。2025年を踏まえて、患者像が変化する中、我々看護職がどのように引き受けられればよいのか、看護提供方式を変えていく必要があり、全体最適を見る視点が重要であると述べられ、リハナースにはチームをつなぐ役割をしてほしいとエールが送られました。



パネルディスカッション

本学会のコンセプトは「体験・参加」です。研究発表したり聴いたりだけではなく、自ら体験し参加することで、自分たちの実践知を確認したり言語化することを期待しました。

倫理ワークショップでは、「こういうワークショップを自部署でもやってみよう」と前向きなご意見があり、体験セッションでピラティスやコーチングを経験された方が、自らの実践を高めるために、新たに始められた方もいらっしゃいました。

学会運営を担当した我々にとっても、この1年間は大変でしたが、一皮むけた経験になりました。



ワークショップ「リハビリテーションにおける倫理」



体験セッション「ピラティス」



体験セッション「コーチング」

インターンシップ 「リハビリテーション看護を体験してみませんか」

当センターでは、看護学生・看護師を対象に、ほぼ毎月第1土曜日にインターンシップを開催しています。

病棟での看護師のシャドウイング（同行して、ケア場面を見学）、リハビリテーション看護の演習など、実習で十分に体験できなかった病棟やリハ看護技術などを、さらに体験してみませんか。

～参加者の声～

- ・現場の看護師と患者さんの関係を感じることができた。
- ・リハ看護の面白さを感じられた。
- ・患者さんの思いに寄添い、多職種で同じゴールを目指すことの大切さを学んだ。

＜平成26年度 今後の予定＞

5月10日（土）、6月7日（土）
7月5日（土）、8月2日（土）

*上記以外にも見学は随時受け付けております。043(291)1831 看護局まで



＜当日のスケジュール（例）＞

- 9:00 集合、概要説明
- 10:00 病棟見学（希望する病棟を中心に）
- 12:00 昼食場面の見学、介護体験
- 13:00 日常生活行動の援助（演習）
- 15:00 センターツアー

第10回 高次脳機能障害リハビリテーション 講習会（ご報告）

今回は「地域で生きる高次脳機能障害者を支える」というテーマで講習会を開催いたしました。

基調講演①では厚生労働省社会・援護局精神・障害保健課の福生先生に「全国の普及事業に関する動向」と題して全国の動きをお話いただくとともに、基調講演②ではエスポワール出雲クリニックの土江様に「島根県における高次脳機能障害者を地域で支えるシステム作りとその成果」と題して特徴的な支援を実施している島根県の取り組みをお話いただきました。また、後半のシンポジウムでは「地域で支える具体的な取り組みと課題」と題して地域のサポート事業者・行政・施設の方々をシンポジストとして迎え、高次脳機能障害者が地域で生活し続けるための支援等について議論を交わしました。

参加者のみなさま、ありがとうございました。

開催日：平成26年1月18日
場 所：千葉市文化センター
参加者：100名



◇第7回千葉県地域リハフォーラム◇ （ご報告）

今回は「地域包括ケア構築に向けた戦略～地域リハビリテーションの役割を知る～」というテーマにてフォーラムを開催いたしました。

前日の大雪で開催が危ぶまれましたが、当日はところどころ雪の残るなか、熱心な参加者の方々にお越しいただきました。

基調講演では厚生労働省老健局老人保健課の逢坂先生に「地域包括ケアに向けた戦略 地域リハが今すべきこと」というテーマでユーモアを交え分かりやすく、地域リハの役割についてお話いただきました。

また今回は初めての試みとして、各地域の地域リハ活動をポスター発表していただきました。各ポスター前で活発な議論が行われ、有意義な時間となりました。

参加者のみなさま、ありがとうございました。

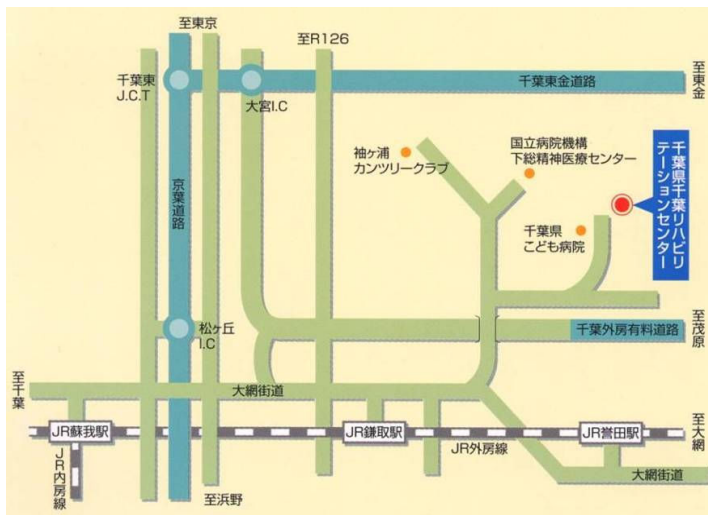
開催日：平成26年2月15日

場 所：千葉市文化センター

参加者：約100名



センター案内図



車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行約9分

無料送迎バスのご案内

平成25年10月5日改定

（センター⇄JR鎌取駅 循環運行）

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
（専用のバス停はございません）
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス（黄色）・・・2名
マイクロバス（水色）・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。